

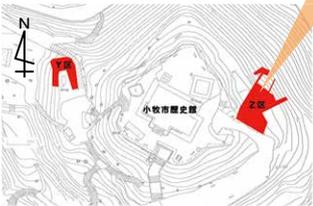
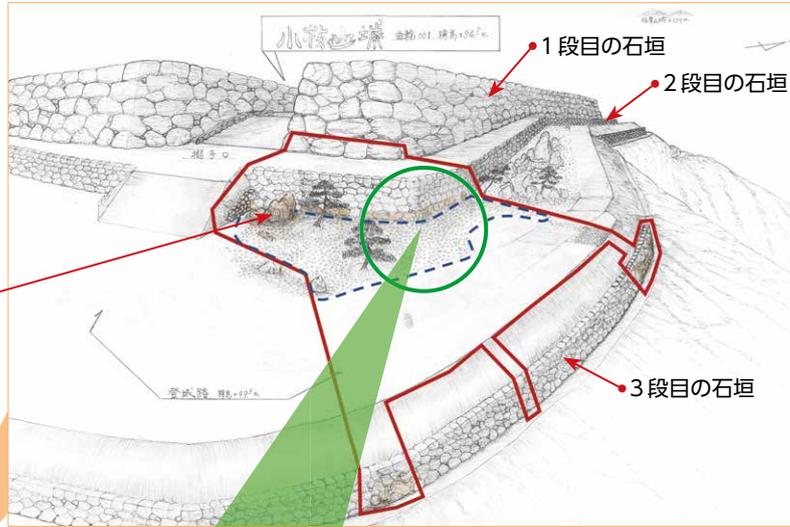
# 史跡小牧山主郭地区第13次発掘調査結果を報告します

問合せ 小牧山課 (☎ 76 - 1623)

▶小牧山城山頂周辺推定復元図（Z区）  
今回の調査区の範囲を赤色、調査区で確認された玉石敷遺構の範囲を青色破線で表示。（青色破線外の庭園の絵はあくまで推定です）



▲立石と考えられる巨石  
巨石の下には、固定するための銅釘が挟まれている。



▲調査区位置図



▲2段目の石垣とその前面に玉石が敷かれている。

## 主郭付近で玉石敷遺構を確認。 織田信長の庭園か？

試掘調査を含め、17年目となる小牧山城主郭（本丸）地区の発掘調査。令和2年度は主郭西側の曲輪斜面（Y区）と主郭東側（Z区）で調査を行い、Y区では石垣列、Z区では主郭を巡る3段目の石垣のうち、上から2段目と3段目の石垣や玉石敷遺構が見つかりました。

### 織田信長天下統一への過程と城郭

年代	信長年齢	できごと	石垣	信長築城か？
1555年	22歳	清須城入城	石垣なし	×
1560年	27歳	桶狭間の戦い		
1563年	30歳	小牧山城築城	石垣構築	○
1567年	34歳	稲葉山城攻略、岐阜城と改称し、居城を移す	巨石石積	改修
1576年	43歳	安土城築城開始	総石垣	○
1582年	49歳	本能寺の変		

調査結果の資料は市ホームページでご覧いただけます▶



Z区で確認された玉石（川原石・直径5〜15cm）は、石垣の前面に2〜3mほどの幅で敷かれています。玉石は、小牧山で採取できるものではないため、一定の規格に沿って選別し、外部から運び込んだものです。玉石敷遺構は、玉石が敷かれる範囲内に、立石と考えられる意図的に据え置いた巨石の存在などから、いわゆる「枯山水」のような庭園に伴うものの可能性が推

定されます。後の信長の居城である岐阜城でも城内に複数の庭が造られていたことが、近年の調査で明らかになっています。

今回確認された玉石敷の空間は、小牧山城に始まる信長の城づくりが、後の城づくりに影響を与えたことを物語る貴重な遺構であるといえます。

史跡小牧山では、これまでの発掘調査成果に基づき、山頂部を大きく5つの工区に分け、令和3年度から5年をかけて順次整備工事を行います。信長築城時の石垣の復元や山頂へ至る道と推定されるルートを開路として整備し、整備完了後には、一部の区画で園路に沿って、山頂に巡らされた石垣をご覧いただける計画です。

現在は発掘調査現場を  
ご覧いただくことは  
できません  
発掘調査現場は、すべての調査、記録作業が完了次第、城郭の遺構や石垣を傷めないよう、養生・保護処理を実施した後、埋戻しを行います。今後とも貴重な石垣、城郭の保存にご理解とご協力をお願いします。